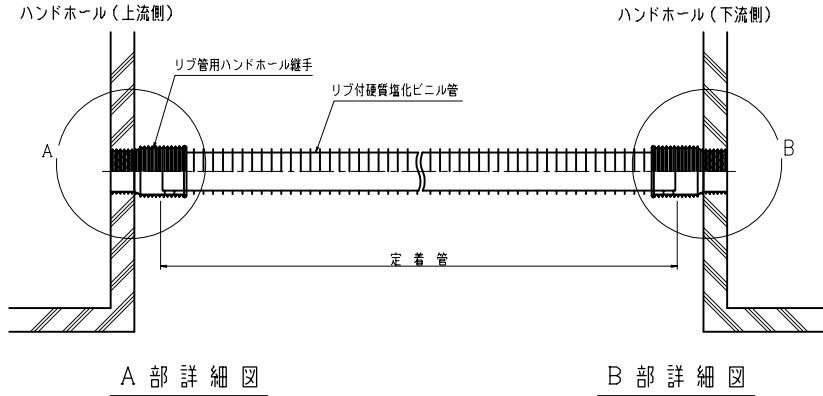


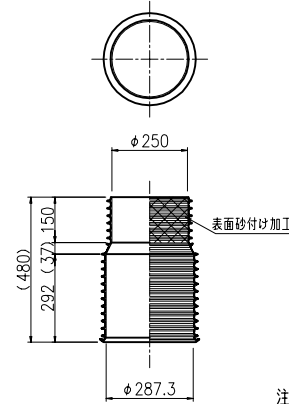
(1 2) 目 次

1 2 - 0 1	情報BOX本体詳細図(リブ付硬質塩化ビニル管)
1 2 - 0 2	情報BOX本体詳細図(鋼管)
1 2 - 0 3	MCCPイーリートリート管(片伸縮・固定)
1 2 - 0 4	ハンドホール(接続・分岐部) タイプ
1 2 - 0 5	ハンドホール(接続・分岐部) タイプ
1 2 - 0 6	ハンドホール 型配筋図
1 2 - 0 7	ハンドホール 型配筋図
1 2 - 0 8	さや管固定金具取付図(固定端)
1 2 - 0 9	さや管固定金具取付図(可動端)
1 2 - 1 0	ハンドホール蓋、埋設標識シート
1 2 - 1 1	梯子、ハンドホール番号札

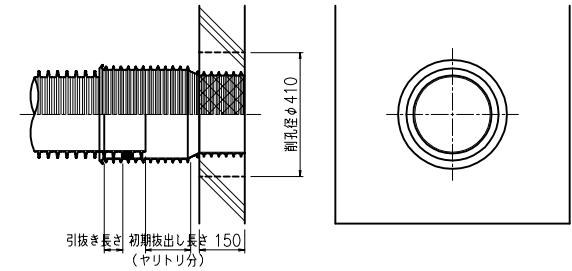
ハンドホール取付図



リブ管用ハンドホール継手構造図



リブ管用ハンドホール継手施工図

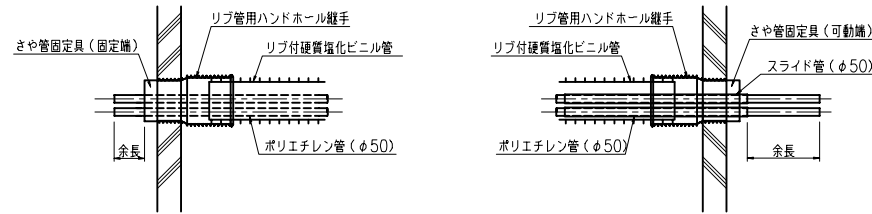


単位：mm

注意事項

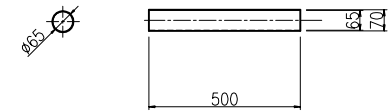
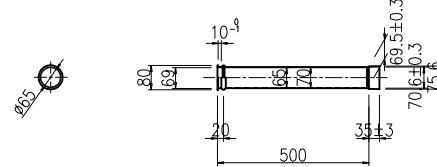
- 許容値のない数値は参考値を表す。
- 初期突出し長さについては、施工性(ヤリトリ)を考慮し、150mm以上確保すること。
- 引抜き長さについては、40mm以上確保すること。

スライド管



スライド管 L=500mm

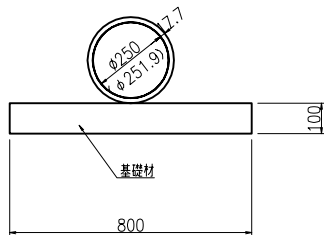
スライド管 (延長管) L=500mm



リブ管部

情報ボックス本体断面図

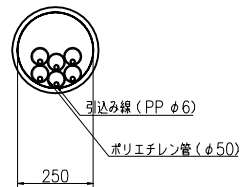
リブ付硬質塩化ビニル管



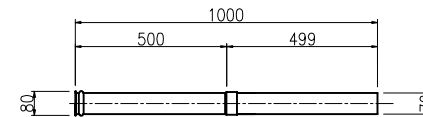
注意事項
() 内は継ぎ手部寸法

さや管施設図

6条



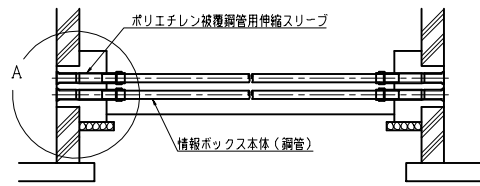
スライド管組立図 L=1000mm



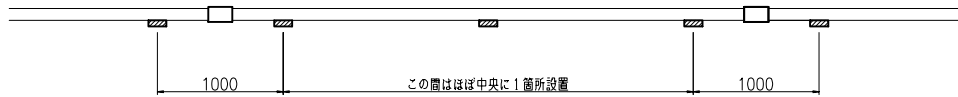
注意事項

- 接続については、硬質ビニル管用の接着剤を用いて接続を行うこと。
- 材質については、硬質塩化ビニルとする。
- 内径については、さや管の引き込みを考慮しφ65mm以上とする。

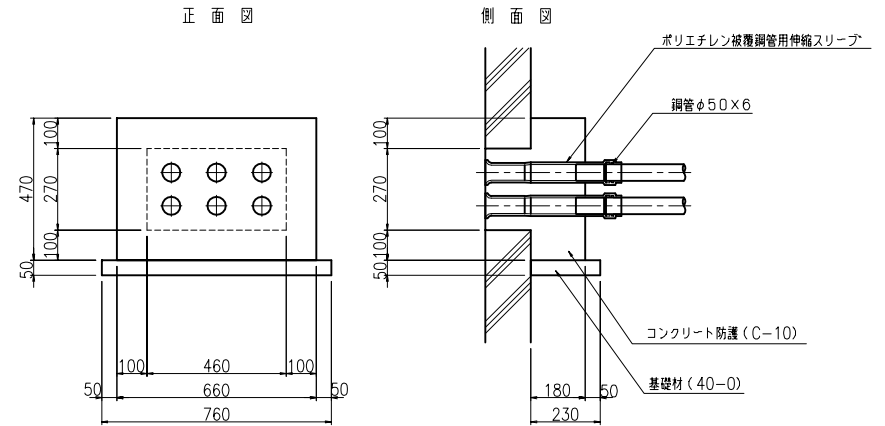
ハンドホール取付図



枕木の配置

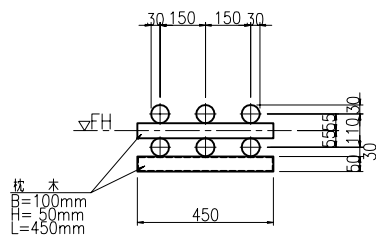


A部詳細図

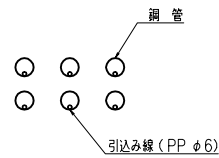


鋼管部

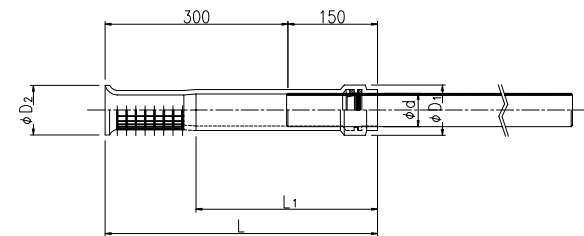
情報ボックス本体断面図



鋼管施設図



ポリエチレン被覆鋼管用伸縮スリーブ



呼び径	D ₁	d	D ₂	L	L ₁	備考
φ50(I型)	83	65	82	450	300	

注意事項

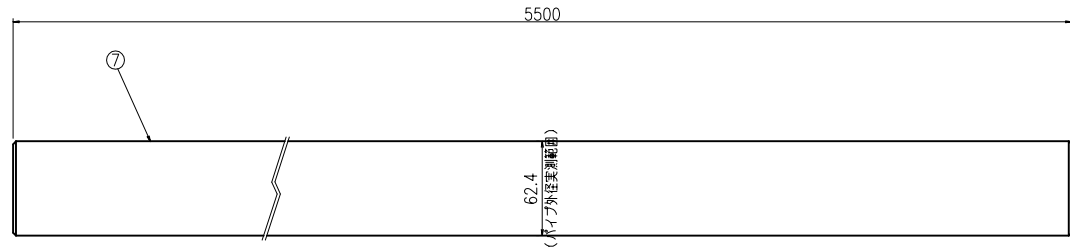
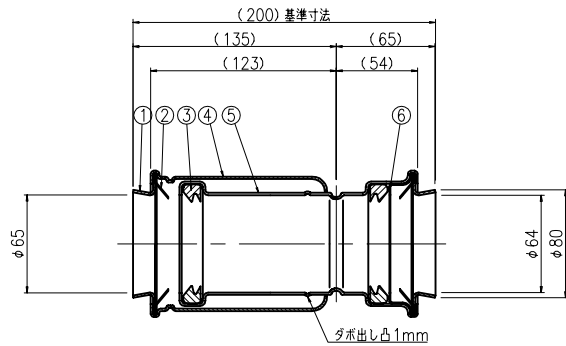
- 許容値のない数値は参考値を表す。
- 鋼管(MCCP)の被覆は剥がさないで接続を行うこと。
- 鋼管(MCCP)を切管したときは、必ず面取りを行った後、接続をすること。
- 材質は硬質塩化ビニルとする。

MCCPイーリートリート管 (片伸縮)

図面番号
名称

12-03
MCCPイーリートリート管 (片伸縮・固定)

単位: mm



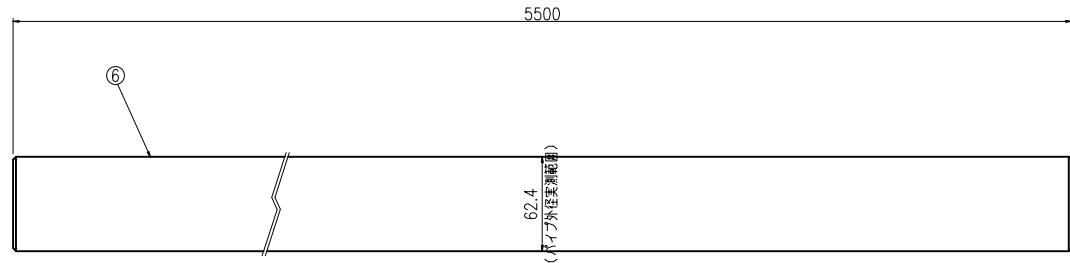
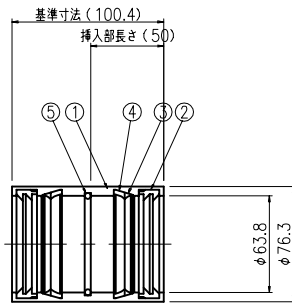
No.	部品名称	数量	材質	備考
①	フタ	2	冷間圧延鋼板	JIS G 3141
②	抜け止めリング	2	SUS304-CSP 1/2H	JIS G 4313
③	パッキン	2	合成ゴム	NBR
④	外筒	1	冷間圧延鋼板	JIS G 3141
⑤	中筒	1	冷間圧延鋼板	JIS G 3141
⑥	パッキン固定リング	1	冷間圧延鋼板	JIS G 3141
⑦	ポリエチレン被覆鋼管 (MCCP)	1	SKT400 (原管) ポリエチレン被覆	JIS G 3444 JIS G 3469準拠

注意事項

継手構造は以下の事項を満足するものとする。

1. 生地加工後に行う表面処理は、ポリエチレン流動浸漬被覆とする。
2. ポリエチレン流動浸漬被覆は、内外面全体に塗布し、膨れ・剥離やその他の有害な欠点があるてはならない。また、被覆の色は黒色とする。
3. ポリエチレン流動浸漬塗装の膜厚は、300μm以上とする。
4. 橋梁漆架の露出配管になる箇所については、耐候性の黒色ポリエチレンを被覆しているものを用いることとする。

MCCPイーリートリート管 (固定)



No.	部品名称	数量	材質	備考
①	本体	1	STK400	
②	ゴムパッキン	2	SBR	
③	ロックリング	2	S45C相当材	
④	バックアップリング	2	ポリエチレン	
⑤	ストッパーリング	1	SUS304	
⑥	ポリエチレン被覆鋼管 (MCCP)	1	SKT400 (原管) ポリエチレン被覆	JIS G 3444 JIS G 3469準拠

注意事項

1. 橋梁漆架部の固定支持部及び、コンクリート内埋設部 (マウントアップ歩道部を含む) については、MCCP管 (固定) を使用するものとする。
2. 橋梁漆架等の露出配管になる箇所については、耐候性の黒色ポリエチレンを被覆している。

ハンドホール（接続・分岐部）タイプ I

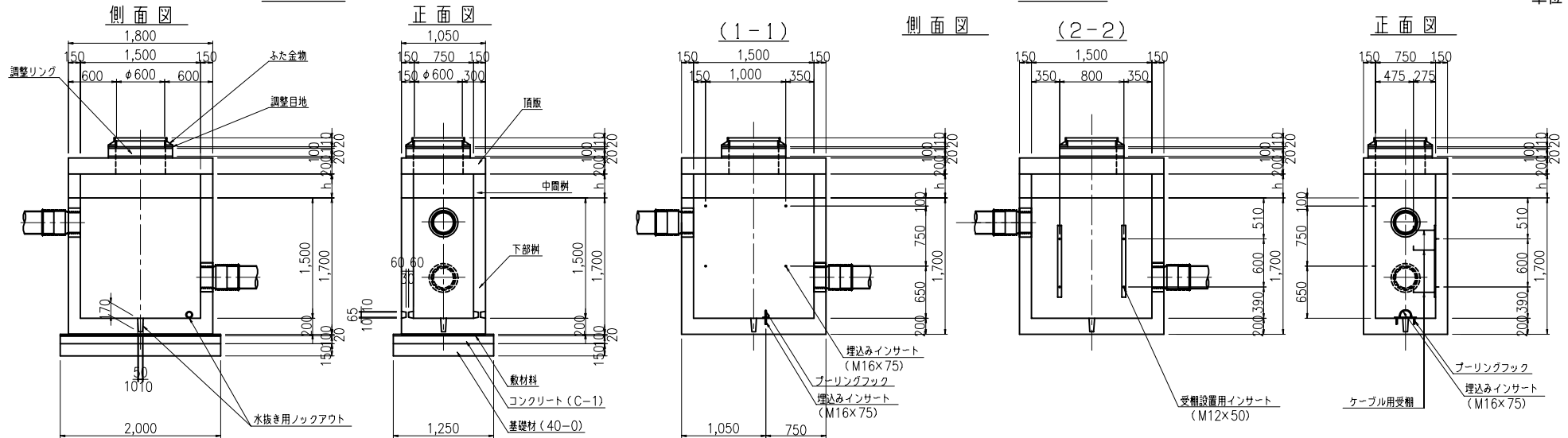
図面番号
名称

12-04
ハンドホール（接続・分岐部）タイプ I

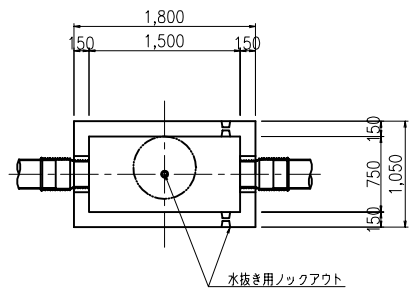
金物取付図

単位：mm

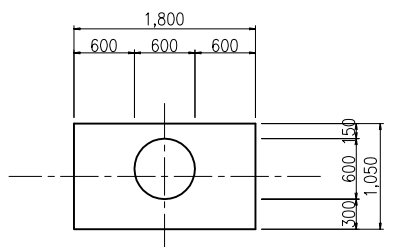
構造図



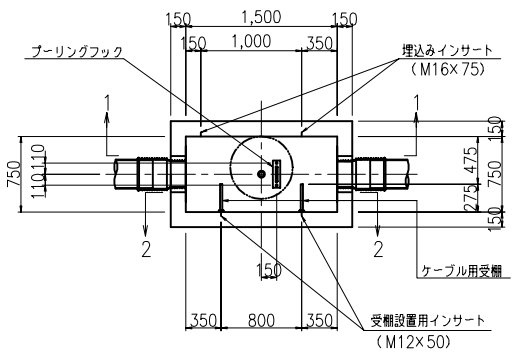
平面図



頂版平面図



平面図



注意事項

1. 敷材料は、厚さ2cm程度のモルタルを標準とする。

参考重量表

名称	参考重量
頂版	794 kg
中間樹 h=0.1m当たり	191 kg
下部樹 (H=1.7m)	3734 kg

材料品質

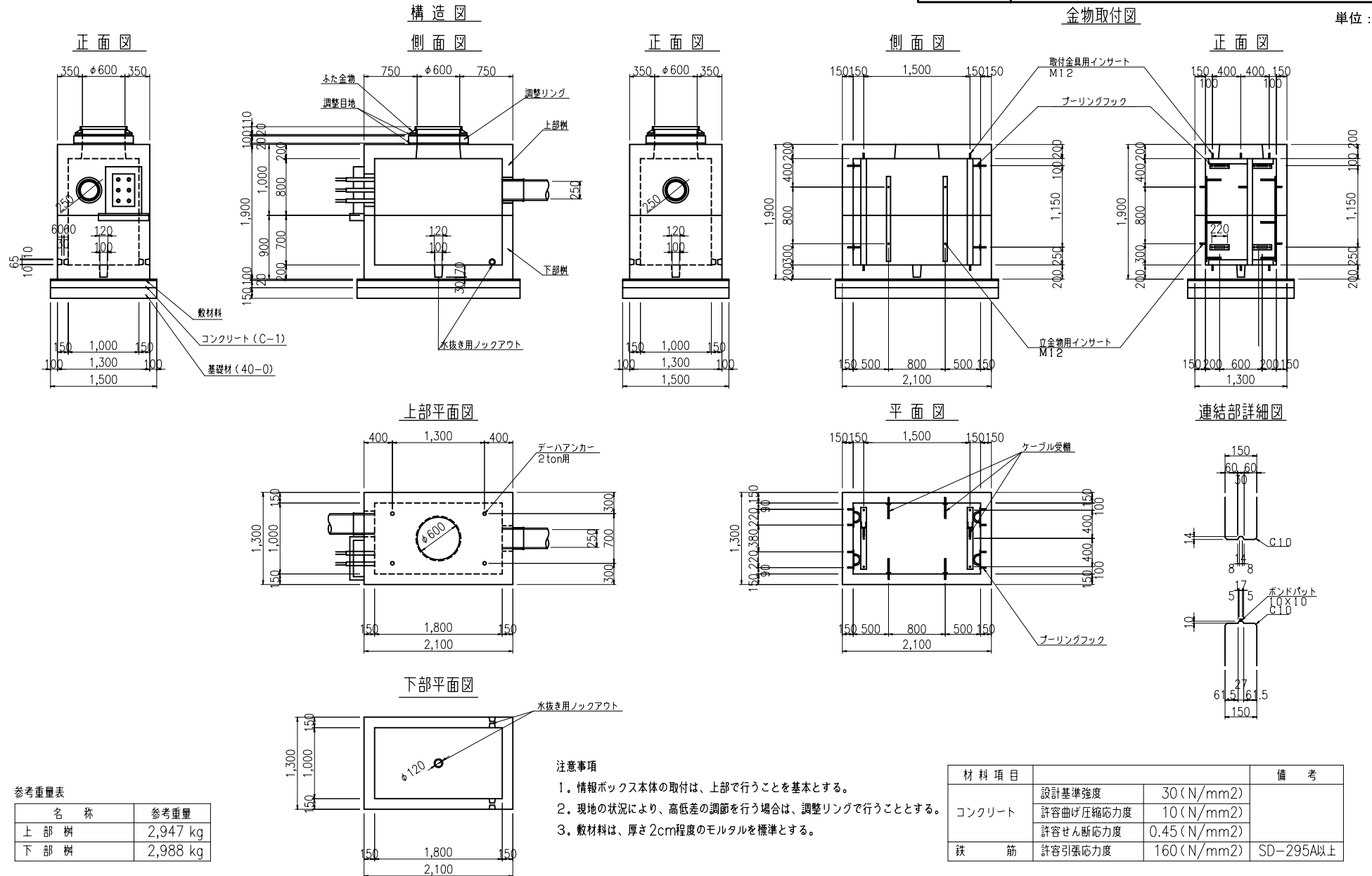
材料項目		備考	
コンクリート	設計基準強度	30 (N/mm ²)	
	許容曲げ圧縮応力度	10 (N/mm ²)	
	許容せん断応力度	0.45 (N/mm ²)	
鉄筋	許容引張応力度	160 (N/mm ²)	SD-295A以上

図面番号
名称

12-05
ハンドホール（接続・分岐部）タイプⅡ

ハンドホール（接続・分岐部）タイプⅡ

単位：mm

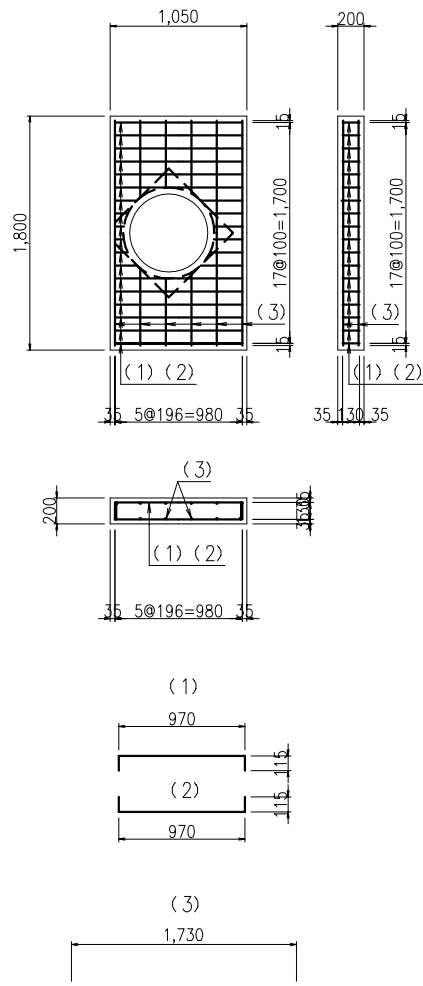


図面番号
名称

12-06
ハンドホールI型配筋図

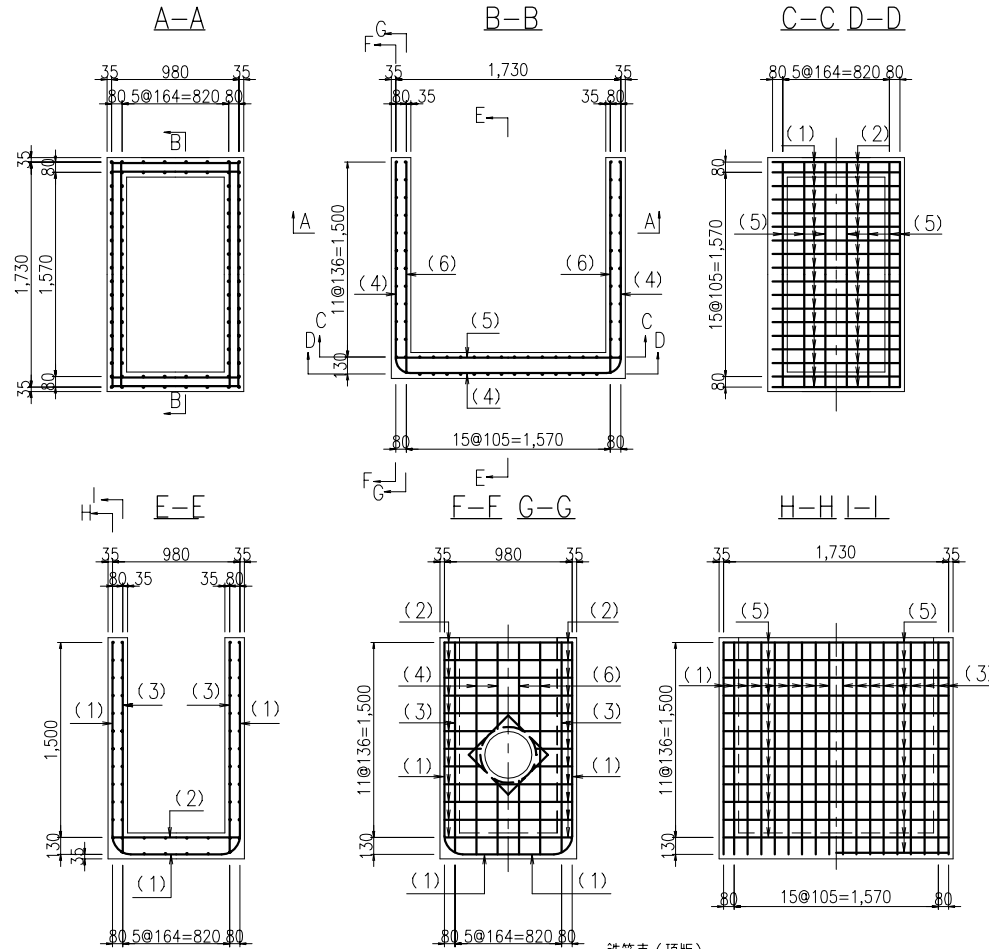
単位：mm

頂版部 配筋



ハンドホールI型

下部 配筋



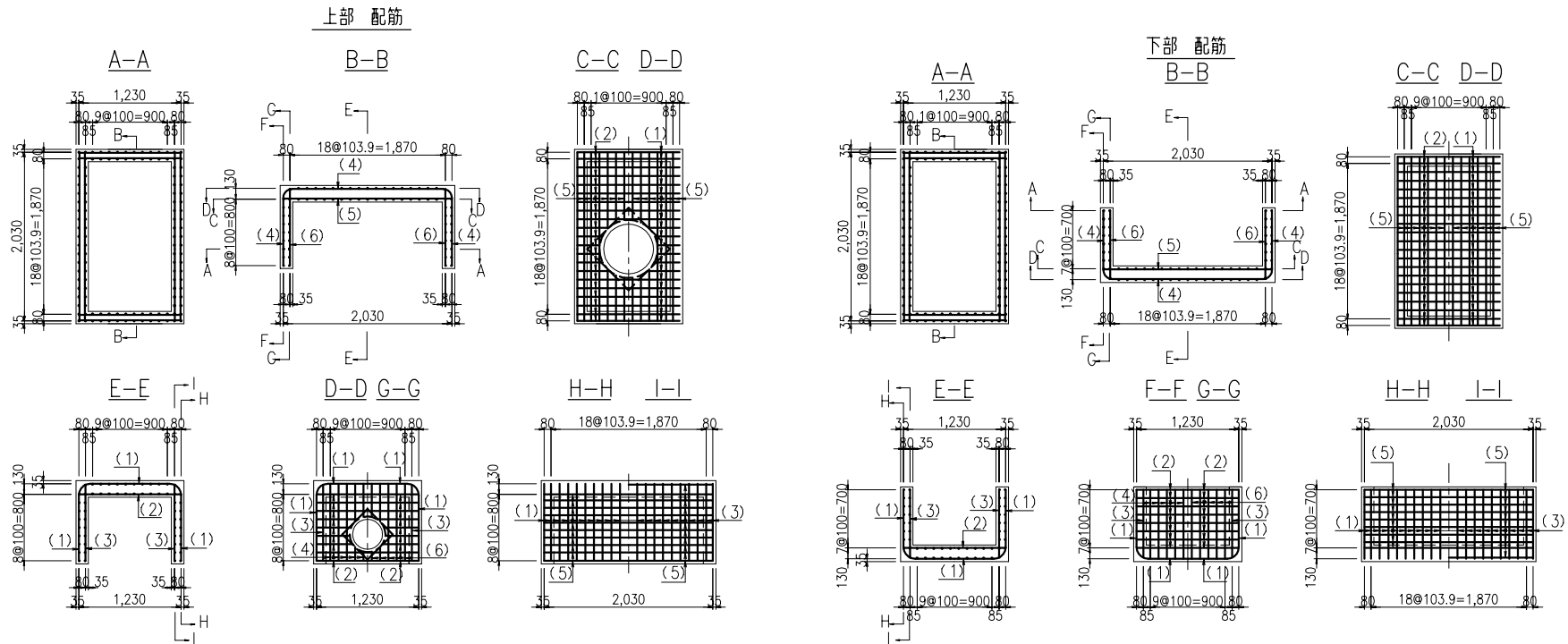
鉄筋表 (頂版)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)
(1)	D13	1200	18	1.194	21.492
(2)	D13	1200	18	1.194	21.492
(3)	D13	1730	12	1.721	20.652
					D13 63.636 kg

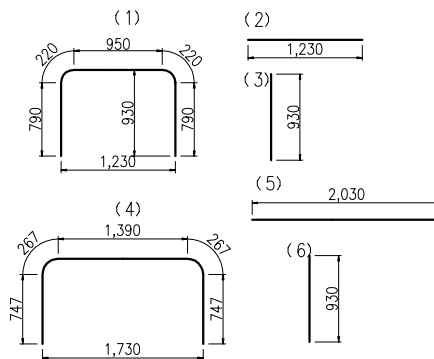
鉄筋表 (下部)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)
(1)	D13	4120	18	4.099	73.782
(2)	D13	980	62	0.975	60.450
(3)	D13	1630	36	1.621	58.356
(4)	D13	4870	4	4.845	19.380
(5)	D13	1730	54	1.721	92.934
(6)	D13	1630	8	1.621	12.968
					D13 317.870 kg

※開口部の補強筋は考慮していない。
※開口部の補強筋は全てD13とする。



上部 鉄筋加工図

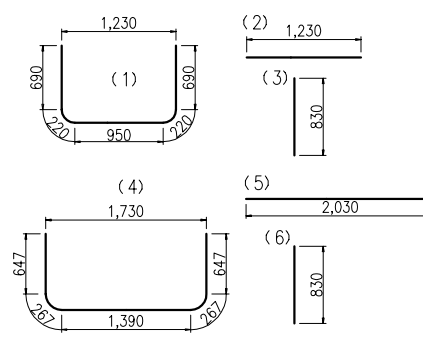


鉄筋表 (上部)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)
(1)	D13	2970	21	2.955	62.055
(2)	D13	1230	53	1.223	64.819
(3)	D13	930	42	0.925	38.850
(4)	D16	3420	10	5.335	53.350
(5)	D13	2030	38	2.019	76.722
(6)	D13	930	20	0.925	18.500
				D13	260.946 kg
				D16	53.350 kg

※開口部の補強筋は考慮していない。
※開口部の補強筋は全てD13とする。

下部 鉄筋加工図



鉄筋表 (下部)

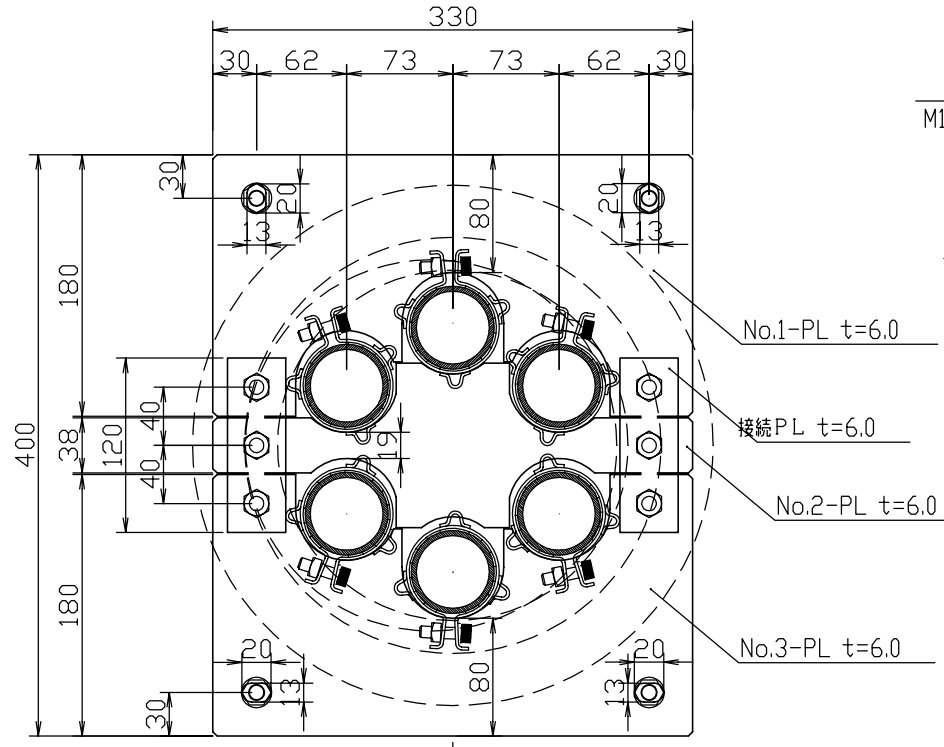
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)
(1)	D13	2770	21	2.756	57.876
(2)	D13	1230	49	1.223	59.927
(3)	D13	830	42	0.825	34.650
(4)	D16	3220	10	5.023	50.230
(5)	D13	2030	34	2.019	68.646
(6)	D13	830	20	0.825	16.500
				D13	237.599 kg
				D16	50.230 kg

※開口部の補強筋は考慮していない。
※開口部の補強筋は全てD13とする。

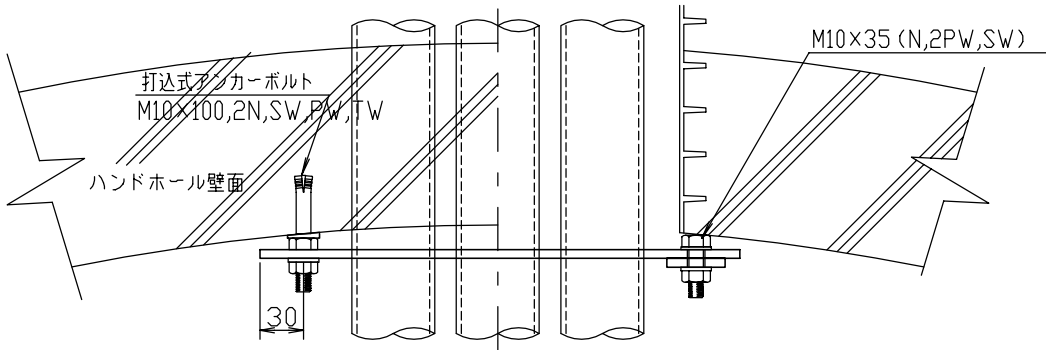
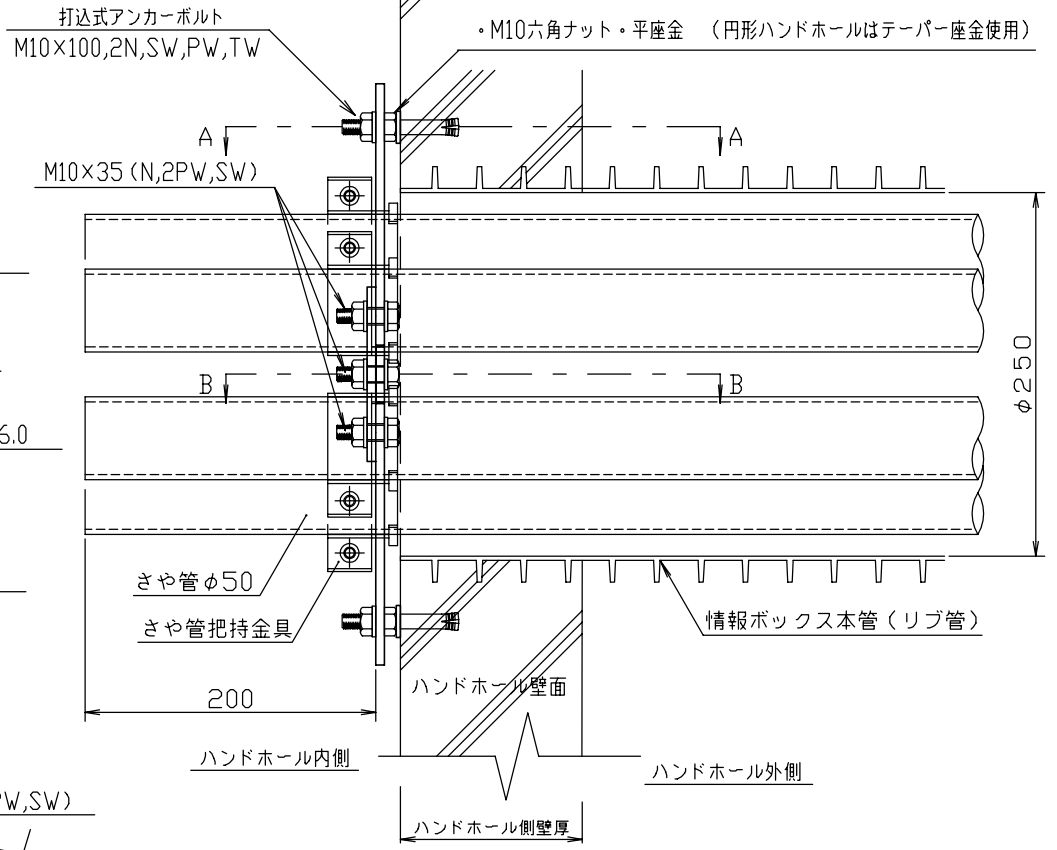
図面番号
名称

12-08
さや管固定金具取付図 (固定端)

単位: mm



A-A断面 B-B断面



材質
SS400 HDZ55

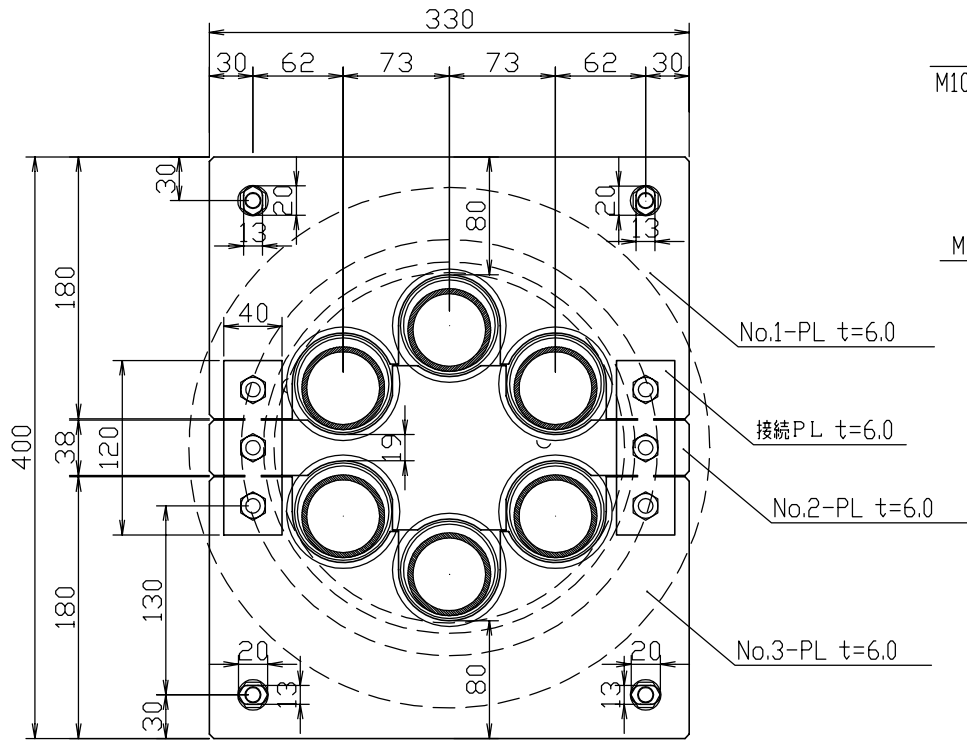
注意事項

1. さや管固定金具 (固定端) は上流側 (地盤の高い方) に施工するものとする。
2. 固定端側のさや管は、ハンドホール内壁より200mm以上の余長を確保するものとする。

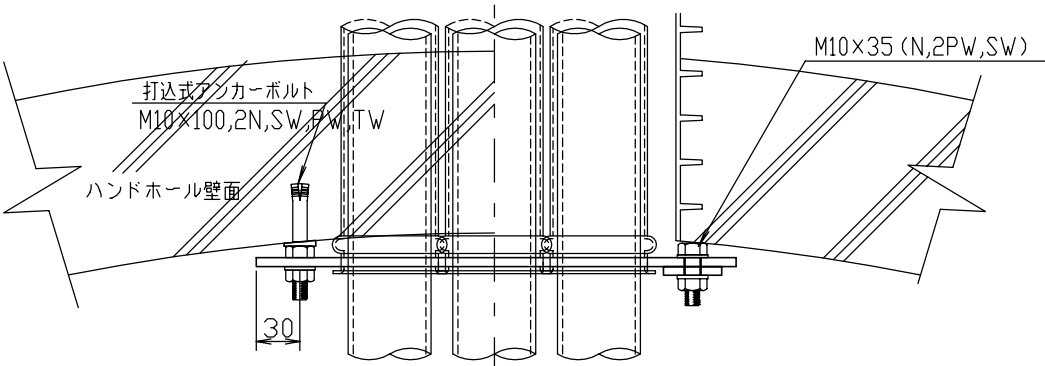
図面番号
名称

12-09
さや管固定金具取付図（可動端）

単位：mm

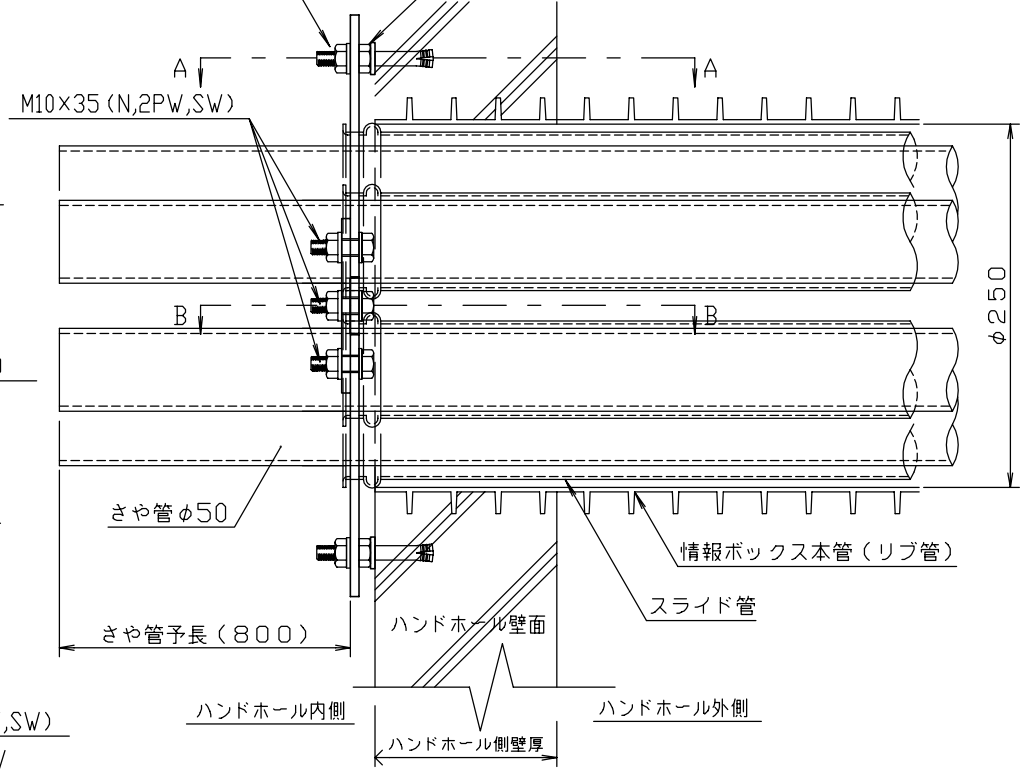


A-A断面 | B-B断面



打込式アンカーボルト
M10×100, 2N, SW, PW, TW

・M10六角ナット・平座金（円形ハンドホールはテーパ座金使用）



材質
SS400 HDZ55

- 注意事項
1. さや管固定金具（可動端）は下流側（地盤の低い方）に施工するものとする。
 2. 可動端側のさや管は、スライド管端部より800mm以上の余長を確保することを標準とするが、実施工が冬期（11月～2月）の場合は200mm以上に対処してもよい。

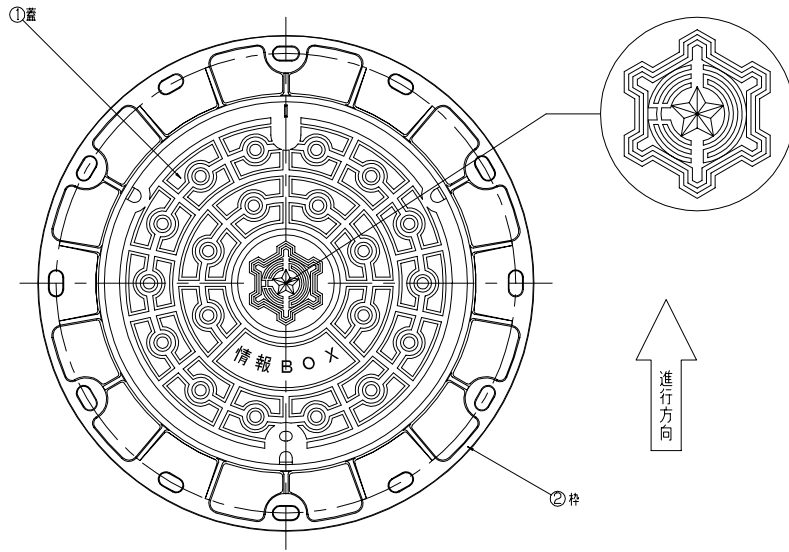
図面番号
名称

12-10
ハンドホール蓋、埋設標識シート

単位：mm

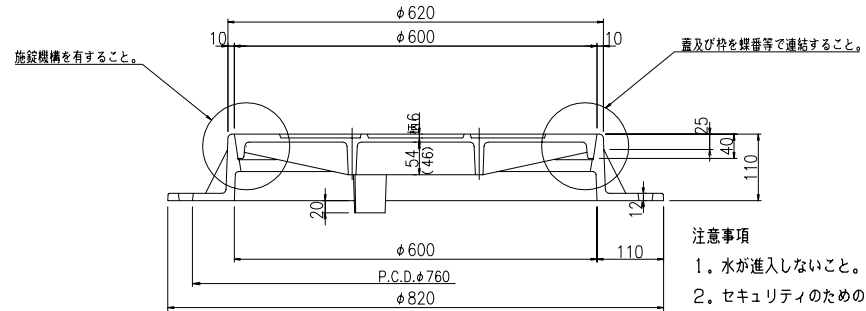
ハンドホール蓋

平面図



断面図

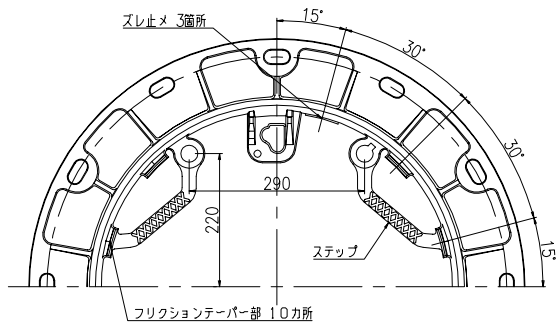
※ ()内は、T-14対応蓋の寸法



注意事項

1. 水が進入しないこと。(水抜き穴が塞がっていること)
2. セキュリティのための施設装置が備わっていること。
3. 車道部設置は、T-25対応蓋としその他の箇所については、T-14対応蓋の使用とする。
4. 製造工場は、(社)日本下水道協会(JSWAS G-4)の認定を有すること。
5. 受枠は梯子が取付けられる構造とすること。
6. 蓋は、進行方向に向けて取付けることとする。

枠詳細



埋設標識シート

印刷表示図

注意 情報通信ケーブルが埋設されています。 注



札幌市
情報ボックス

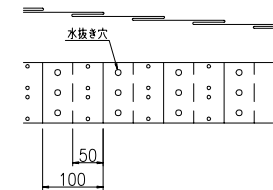


札幌市
情報ボックス

札幌市道路管理者の立会いを求めてください。



折込構造図



注意事項

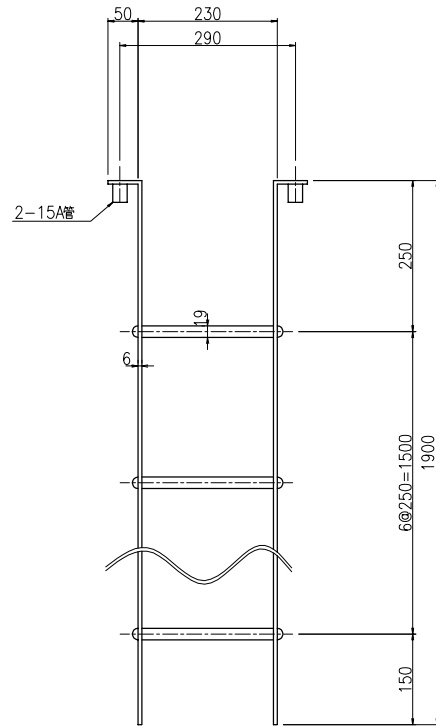
1. 色は、地色をピンク、文字色を黒とする。
2. 折込は2倍とし、定尺は50mとする。
3. 材質：ポリエチレンクロス(ポリエチレン99%以上使用)
4. 印刷内容は、印刷表示図の連続印刷とする。
5. 印刷表示図は、折込み前の状態とする。

図面番号
名 称

12-11
梯子、ハンドホール番号札

単位：mm

梯子

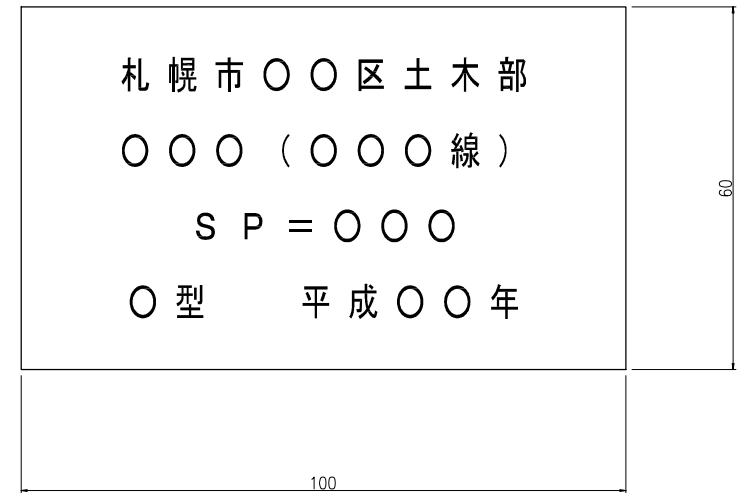


注意事項

1. 材 質：SS400
2. 表面処理：HDZ55

ハンドホール番号札

(例)



注意事項

1. 材質はタイル合成樹脂等で堅ろうで耐久性のあるものとする。
2. 設置位置は蓋下の左側とする。
3. エポキシ樹脂系接着剤等を用いて接着するものとする。